

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	カルティボ キッズ			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～	2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41名	(回答者数)	29名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		～	2025年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月19日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの心身や発達状況の様子に対して、保護者様との共通理解、連携が取れている。	・事業所であったことはいい事、いけない事を含め連絡帳に記載し、お伝えするように行っている。また必要性がある場合は送迎時に伝え、日々の子どもの状況や課題、できていたことなどの話をするようにしている。 ・相談等の依頼を受けた場合にはできる限り日にちをあげず、電話や来所していただいで対応するようにしている。	・引き続き子どもの心身の状態や変化に気を付けながら支援を行い、気になる点がある際には伝えるようにしていく。ただ送迎時の話は他児が乗車している場合も多い為、質問等をもらった場合には電話をさせていただき、時間の確保を行いながら問題の解決ができるようにしていく。
2	・個別支援計画書の説明、またその内容に沿った支援の実施ができています。	・児発管が必ず完成した個別支援計画書の説明を行うようにしている。もし保護者様とのズレが出ていた際にはすぐに修正をかけるようにしている。 ・来所前のミーティングを必ず実施し、その日に来所する子どもの個別支援計画書の内容を確認をして支援している。その他気になること等の話し合いも行っている。	・カルティボ内での他事業所の利用の際には、情報共有しながら個別支援計画書の作成を行い、子どもにとって統一性のある支援を実施していく。 ・送迎時に学校の先生とお会いできる機会があれば情報を共有を積極的に実施していく。
3	・様々な種類のプログラムを実施している。	・プログラムは曜日ごとの固定はせず、様々な体験や経験を積むことができるように工夫している。またプログラム名が同じものでも内容は毎月変更するようにしている。 ・プログラム作成にあたっては週1回のミーティングを実施し、内容を検討をしている。地域のイベント等がある場合には積極的に参加するようにしている。	・同法人内の事業所との合同プログラムを実施する機会を増やし、固定化された友だちとの関わりだけでなく、幅広い年代や新しいお友だちとの関わりを持てるように工夫をする。 ・保護者様からの意見を募り、要望に合わせた新規プログラムの作成を実施していく。
4	・安全への取り組みを徹底している。	・昼礼時には当日のプログラムの内容や子ども達、指導員の動きを確認し、どこに危険があるかを考える危険予知活動を実施している。また毎月「ヒヤリハット会議」を実施し、安全管理に務めている。 ・避難訓練では火災、水害、地震を想定して実施するとともに、実際の避難場所まで歩いていく練習を取り入れている。	・今後も「危険予知活動」「ヒヤリハット会議」に継続して取り組み、ケガ等が起こらないように子ども達の安全確保を徹底していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の具体的な説明や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていなかった。	・個別支援計画書のモニタリング時に悩み等の相談がある場合にはペアレントトレーニングとしての考え方や支援方法の提案を行っていたが、「ペアレントトレーニング」という言葉は使用していなかった為、わかりにくさがあった。 ・研修会等の開催はしておらず、情報提供は稀にしていた程度になってしまっていた。	・相談等があった場合にはペアレントトレーニングとしての考え方や支援方法をお伝えすると共に、時間や状況を考えながら研修会等の開催を検討する。また保護者様が参加できるような外部の研修会など情報を探し、積極的に発信を行う。
2	・保護者会、保護者同士の交流の機会、きょうだい向けのイベント等が開催されておらず、閉鎖的になってしまっていた。	・保護者会等は時間的、業務的などところがあり、開催することができていなかった。季節に合わせたイベント(夏祭り、クリスマス会等)は事業所内では実施していたものの、指導員の配置状況から参加できる形では行っていなかった。	・保護者会等は午前中の児童が登所していない時間帯を使い、開催を検討していく。また気軽に保護者が集まれる場として保護者会とは別に午前中に事業所の解放や参観日の実施、家族参加型のイベントなども検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	カルティボ キッズ		公表日				2026年1月29日			
			利用児童数		41名		回収数		29	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	0	0	0	・十分だと思います	・運動プログラムも行えるプレイルームと個別に勉強できる勉強ルームに分けて、十分なスペースの確保をしている。 入口については順番を守って入退室できるよう支援し、怪我等に繋がらないようにしている。 ・ご希望があれば内覧していただく機会を設ける。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	0	0	1		・保育士、児童指導員と経験豊富な職員を配置している。2025年9月からは公認心理師を常勤配置している。 ・多くてもお子様二人に対して指導員が一人付くように配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	0	0	1	・活動スペースと勉強スペースがきちんと分けてあってとてもいいと思います。	・視覚優位の児童に分かりやすくイラストで一日の流れを説明したり、やってはいけないことを知らせたりして効果を上げている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28	0	0	1	・されていると思います。とても清潔にしてあります。 ・中を見る機会がない。	・清掃は毎日行っている。スタッフ、子ども達が外から室内に入って来た時は、除菌手洗い、うがいをしっかりするように指導している。ペーパータオルの使用、アルコール消毒の徹底、空気洗浄機の導入を行っている。換気も定期的に行っている。 ・ご希望があれば内覧していただく機会を設ける。		
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	1	0	1	・運動が苦手なので体の使い方の丁寧な支援はこれからも続けてほしいと思う。	・事業所として「専門性」は長年、子どもと関わってきた指導員の考えや支援方法を指すと考えている。支援に関しては子ども達の来所前にミーティングを行い、前回の様子や今の状況、個別支援計画書の内容を確認し、適切な支援を実施できるようにしている。運動に関しても今後も機会を設け、継続して支援をしていく。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な 支援の 提供	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	0	0	0		・公表しているプログラムと実施プログラムは合わせるようにしている。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	0	0	0	・先生間でよくお話をしてくださった上で作成して下さっているの良いと思います。	・利用日の様子を記録に残しスタッフの意見を取り入れ保護者の方と面談（モニタリング）をしてから支援計画書を作成している。支援の結果から評価表を作成し、保護者様に説明をするようにしている。 ・今後も、引き続き取り組む。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	0	0	0	・詳しく作成いただいていると思います。	・個別支援計画書はガイドラインに合わせ、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」の記載を行っている。支援目標はモニタリングの上、児発管が作成した内容を元に指導員を含めて話し合いを行い決定している。支援内容は誰が見ても理解できる内容になるよう工夫をしている。 ・今後も、引き続き取り組む。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	0	0	0	・その日のプログラム以外で本人が苦手としている事をサポートしてくださっております。	・個別支援計画書の内容を子ども達が登所する前に再確認し、適切な支援が行われているか児発管、指導員が常に意見を交換し、最適な支援の実施ができるようにしている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	2	1	1	・曜日の都合で参加できないプログラムもあるのですが新しいプログラムが順次追加されていて良いと思います。 ・曜日で決まっているのでシャッフルにさせていただけると色々経験できるなと思います。	・ミーティングを通して活動プログラムは常に見直し、マンネリ化しないように新しいアイデアを提案できる体制を取っている。季節の行事を大切にプログラムを検討している。引き続き、マンネリ化しないように検討していく。 ・SSTなど、プログラム名が同じものについてもその都度、内容は変更するようにしている。 ・利用希望の多いプログラムについては機会を増やし、できる限り参加していただけるよう工夫している。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	4	17		・お買い物体験や地域のイベント等に参加し、事業所以外の人との関わりを持つことが出来るようにしている。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	0	0	0		・たくさんの保護者の方々から丁寧な説明を頂いていると評価いただき、一層ご期待に添えるようにしたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保 護 者 へ の 説 明 等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	0	0	0	・お伝えしていなかったのも悪いのですが、複数人いる所で話すのが少々苦手なので個別でお話できた方がいいなと思っております。	・放課後等デイサービス計画は個別支援計画書のごとであり、計画書完成時にはできる限りお顔を合わせ、計画書と照らし合わせながら説明をするようにしている。今後もより保護者の方に分かり易い支援内容の計画書作成と丁寧な説明を今後も継続していく。 ・個別でのお話をご希望の場合にはお伝えしていただけると配慮します。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	4	3	12		・保護者様から相談依頼があった際には時間を設け、個別に対応している。その際にはご自宅で出来る事、声のかけ方等をお伝えし、家庭でも出来る支援の方法、考え方をお話ししている。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27	1	0	0	・話す機会が以前より減った。 ・先生とお会いした際にお話させていただいております。	・今後も保護者の方への連絡、報告など共通理解を得るため、徹底していく。 ・送迎時のお話は時間、状況的にも難しいことが多い為、連絡帳で様子をお伝えしている。ご希望があればLINEやお電話でお話している。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	2	0	1	・定期的がどうかわかりません。	・モニタリング時に必要があれば実施している。また希望があれば日時を設定し、対応している。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	0	0	0	・いつもありがとうございます。	・保護者に思い、また子どもの様子や状況を見て、今はどうすることがよいかを考えて支援をしている。 ・今後も引き続き保護者様に寄り添う支援を実施していく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	7	14	・父母の会、保護者会、きょうだい支援があるのかわかりません。	・本年度は保護者会等、実施できなかった。来年度以降茶話会等を含めて実施を検討していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	1	0	1	・お声掛けをくださってありがたく思っております。 ・不安に感じたことを伝えた時、すぐに真摯に対応してくれた。	・正式に窓口の設置はしていないが、保護者からの子育て悩みに対する相談へは適切に対応できるよう心掛けており、必要な助言はスタッフと情報共有を行っている。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	0	0	0		・基本は連絡帳でのお知らせになるが、即時知らせるべき事柄は送迎時に情報を共有して意志の疎通を図るようにしている。また電話、メールやLINEのチェックを日々行うようにしている。 ・可能な限り、お子様に聞かれないよう配慮していきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26	0	0	2		・引き続き、会報、活動概要、行事が分かりやすく楽しめる内容にしていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	0	0	0	・お話をいただいている時に十分に留意されている事がよく分かります。	・引き続き個人情報には注意していく。また定期的に研修を行い、職員全員が個人情報の大切さを意識できるように取り組んでいる。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	0	0	0		・引き続き職員ミーティング等でマニュアルの周知徹底を行いながら、変更点等あれば随時見直しを実施していく。また保護者の方にはご希望があれば閲覧できる環境を整えている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	0	0	1	・避難場所が知らない所だったので訓練していただいているので良かったです。	・会報等で避難訓練の実施の予定や結果をお知らせしていく。 ・消防署の行っている救命救急の研修には定期的に参加している。また避難訓練は火災、防災等を年に2回以上行っている。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	0	0	0		・送迎に関しては前年度のアンケート結果をもとにジュニアシートの使用を徹底している。 ・プログラムを実施する際には不要な机等は片付け、怪我等に繋がらないよう留意している。また子どもに対して職員の担当を決め、目が行き届くよう留意している。 ・日々受け入れ前には危険予知活動を実施し、安全確保に務めている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	0	0	2	・都度教えていただいていると思います	・頭部を打った場合や事故、大けがの場合はすぐに電話を行い、伝える体制を整えている。また緊急性のない軽傷については送迎時に経緯と怪我の具合を説明する体制としている。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	26	2	0	0	・先生方にはとても安心して思います。	・子どもが安心感を持てるように笑顔を心がけて指導員全員が関わるようにしている。子どもの意見は出来る限り否定をせず、ゆっくりと話をしながら納得してもらえるよう対応している。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	25	3	0	0	・苦手な事がある時は不安そうにしている時もあるのですが楽しみにしております。	・プログラムにより好き嫌いがあるかもしれないが、指導員も一緒に参加し、みんなで楽しめるよう工夫をする。また子ども達から楽しかったプログラムを聞いて、予定に反映するようにしている。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	0	0	0	・いつもありがとうございます。	・引き続き、皆様に満足してご利用していただけるよう、子どもの支援に対して日々話し合いやPDCAサイクルの実施を行い、より適切な支援ができるよう努める。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名

カルティボ キッズ

公表日 2026年1月29日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・運動プログラムも行えるブレイルームと個別に勉強できる勉強ルームに分けて、十分なスペースの確保をしている。 ・入口については順番を守って入退室できるよう支援し、怪我等に繋がらないようにしている。 ・プログラムの際には机を片付けたりピアノを動かしたりしながら効果的に室内を使用できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの部屋に全員が集まると手狭になってしまう。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・基準配置は守りつつ、基本はお子様二人に対して指導員が一人付くように配置している。 ・指導員同士の声掛けにより、安全を確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の状況により、一対一で付かないといけない場合があり、指導員が不足する時間帯がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚優位の児童に分かりやすくイラストで一日の流れを説明したり、やってはいけないことを知らせるようにしている。 ・相談室や事務室には季節に応じた必要事項の張り出しを行い、注意喚起を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・静かな空間を作ることは部屋の構造上難しいため、イヤーマフやパーテーションを使用し、集中できる環境づくりを実施している。 ・空気洗浄機の導入を行っている。換気も定期的に行っている。 ・おもちゃの位置や遊んでいい場所等を考えている。 ・おやつ時間の取り決めなど行い、集中できる環境づくりに務めている。 ・掃除の回数を増やしてより清潔な空間づくりを心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・相談室を有効活用できるように変更し、発熱時や個別の対応ができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	・子ども達が来所する前にはミーティングを毎日行い、PDCAサイクルを元に話し合いができるようにしている。	・特になし。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・毎年保護者様向けの評価は配布し、広く意見を求めている。意見の記載があった場合、話し合いを行い業務改善に繋げている。	・特になし。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・半年に一回、代表面談を実施し、指導員の意見を聞き、業務改善につなげている。 ・週一回、全体ミーティングを実施し、意見を抽出している。	・特になし。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5	・第三者評価は現在行っていないが、保護者様のご意見を聞きつつ、必要があれば設置していく。	・特になし。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	・内部研修を定期的に行うとともに、外部の研修についても告知し研修できる体制を整えている。 ・どのような研修を受けたいか等、意見を募り、結果をもとに検討していく。	・非常勤指導員に対する研修の機会が少ない。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	・専門職の視点を取り入れ、より適切な支援プログラムを実施している。	・特になし。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	・利用日のお子様の様子を記録し、スタッフの意見を取り入れ保護者の方と面談（モニタリング）をしてから支援計画書を作成している。	・特になし。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・個別支援計画書作成にあたり、ミーティングを実施しているが、参加できない指導員に対しては個別に話を伺うようにしている。	・特になし。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・個別支援計画書の内容を昼礼で再確認し適切な支援を実施している。また児発管、指導員が常に意見を交換している。 ・引き続き、子ども達の成長を注意深く観察していく。	・特になし。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	・型にはめず、個々の行動観察を実施している。	・フォーマルなアセスメントツールの作成、運用方法の検討が必要。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	・モニタリングを通して保護者様からの希望と事業所側の考えを伝え、支援計画書を作成してる。また「本人支援」「家族支援」「移行支援」を踏まえた5領域を踏まえた個別支援計画書の作成に努めている。	・特になし。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	・職員間で話し合い、活動プログラムの立案している。また現在は週一回、プログラムの為のミーティング時間を設けている。 ・スタッフからの意見やご利用される方の希望などを取り入れて個別対応やチーム全体でできる楽しく参加できる活動プログラムを立案している。	・特になし。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	・ミーティングを通して活動プログラムは常に見直し、マンネリ化しないように新しいアイデアを提案できる体制を取っている。 ・指導員間の情報共有、保護者の方との意見交流を行っていき、プログラムの立案を実施している。	・特になし。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	・子どもの状況に合わせてながら個別プログラムを実施しつつ、集団活動を行っている。また発達状況を常に見極め記録し、個別と集団活動とその記録をスタッフミーティングで検討し個別支援計画書の作成を行っている。	・特になし。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・朝礼、昼礼時には当日利用予定の子どもたちの個別支援計画書の内容を確認し、それぞれの目標にあった支援が実施出来るようにしている。また、変更等がある時には的確に指導員間で伝達確認出来るようにしている。	・特になし。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	・就業時間の関係から支援終了後の打ち合わせは難しい為、子どもたちが来所する前のミーティングにて話し合いを行っている。 ・重要事項については個別ファイル、伝達ノート、回覧ファイルを作成しているのでそこに記載し、伝達忘れのよう工夫している。	・パートタイマーは早く帰るので全員ではない。が送迎時保護者や学校の先生からの情報は大切な事が多く、今後もっとスタッフ全員に行き渡るようにしてほしい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・個別支援ファイルや業務日報の正確な記録を行い、受け入れ前のミーティングで直近の出来事を話し合い、支援内容の検証、改善は常に行い指導員間で情報の共有をしている。	・特になし。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・定期的なモニタリングは最低6か月に1回行っているが、支援内容の変更がある場合には保護者様の意見を聞きつつ、随時見直しを行っている。	・特になし。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	0	・子どもたちが飽きないように「4つの基本活動」を元にプログラムを立案、実施している。	・特になし。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	・お買い物体験、コーナー遊び等、自己決定を行うプログラムを実施している。	・特になし。
関係機関や	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	3	・会議はほとんど実施できていないが、相談支援事業所のサービス担当者様と電話や面談にて情報の共有をおこなっている。その際は児発管や担当指導員が参加するようにしている。	・相談支援事業所との調整が合わず、サービス担当者会議が会議を開くことが難しい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	・事案が発生した場合には各機関と速やかに連携を行っている。	・特になし。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	2	・送迎時、気になる事や支援の方法など時間があれば学校の先生方をお話を行い、連携をしている。また必要に応じて電話等で情報共有を行っている。	・特になし。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	・幼稚園、保育園等の連携は難しいが、児童発達支援などに通われていた場合、個別支援計画書等の確認をしながら継続した支援ができるよう努めている。 ・情報共有があった際にはミーティングや連絡ノートを通して周知徹底していく。	・非常勤職員が出動していない時間帯にしていることが多く、全員に周知できていない時がある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	・カルティボネクストに移行する場合は事前に情報共有を行っている。他事業所に移行する場合は保護者様からの希望があれば情報共有を行う。	・特になし。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	6	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて連携を行っていく。 ・開催されている研修に関しては参加できるときはしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在児童発達支援センターとの連携は行っていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベント等に参加し、事業所以外の人との関わりを持つ機会は設けている。 ・今後必要に応じて実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の観点から、難しいことが多い。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6	<ul style="list-style-type: none"> ・(自立支援)協議会等へ参加を検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(自立支援)協議会等へ参加していない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達の状況や課題は、日ごろから保護者様との共通理解をもつために連絡帳、電話、メール、送迎時を通して行っている。 ・今後も保護者の方とへの連絡、報告など共通理解を得るため、徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から相談依頼があった際には時間を設け、個別に対応している。その際にはご自宅出来る事、声のかけ方等をお伝えし、家庭でも出来る支援の方法、考え方をお話ししている。 ・要望に応じてペアレントトレーニング等、研修の開催を検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対して支援内容と利用者負担については見学、モニタリング、重要事項説明時、契約書締結時に丁寧な説明を行っている。 ・ご利用者の実費負担については毎月の手紙で連絡している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング時に必ず保護者様の意見を伺うとともに、状況によりお子様も参加してもらっている。 ・子どもたちには「目標シート」に取り組んでもらい、小さな成功体験を積み重ねることができるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画書が出来上がった際には児発管が計画書を示しながらの支援内容を保護者様に説明するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・定期的な面談はしていないが、要望があったときは実施している。また個別支援計画書更新時のモニタリングにて話を聞かせていただき、助言するようにしている。	・定期的な面談は実施していない。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	6	・来年度以降、平日の午前等を利用して交流の場を作りたいと考えている。	・本年度は実施できなかった。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・申し入れがあった際には迅速に対応している。 ・指導員として感情的にならず、常に意味を持った行動を心がけるようにしている。不適切な関わりとならないよう指導員同士で声を掛け合いながら常に適切な関わりを持つことができるようにしている。	・特になし。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・毎月の会報はLINEまたは用紙で行い、活動概要や行事予定、連絡体制等はメールやLINE、電話、訪問時での確に情報発信できるようにしている。 またSNSを用い、活動内容をよりイメージできるように発信している。	・特になし。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・個人情報取り扱いについては年1回必ず研修を行っている。 ・来客がある際には個人情報がのっている資料を裏返す、また隠すためのシートを準備するなどして、個人情報の扱いに気を付けている。	・特になし。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・保護者様に対しては電話連絡だけでなく、メールやLINEを使用しながら文章でもお伝えするようにしている。	・特になし。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	・機会があれば検討していく。	・個人情報の観点から、現状は行っていない。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・各マニュアルを策定しファイリングして職員が閲覧できるようにしている。また定期的な研修を実施し、変更点等あれば随時見直しを行っている。 ・保護者の方にはご希望があれば閲覧できる環境を整えている。	・特になし。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に消防官に依頼し、救命救急の研修を実施している。また避難訓練は火災、地震、水害を想定したものを定期的に行っている。 実施した訓練についてはお手紙等でお知らせしている。 	・特になし。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> てんかん発作については児童の把握はできている。また迅速に対応するため、対応方法を掲示している。 お迎え時、保護者様に会うことができる場合は体調等を伺うようにしている。 	・特になし。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示書が必要なお子様がいない。 アレルギー者一覧表を作成し、おやつBOXと一緒に置いて間違いのないようにしている。 クッキング、イベント関係の際には個別に保護者様に連絡を行い、対応するようにしている。 アナフィラキシーショックが想定されるお子様にはおやつを持参をお願いするようにしている。 	・特になし。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> より安全に療育を行うために要領書を整備、周知している。 療育中、必ずドアは施錠している。 外出等、通常の療育と違う動きがある場合には事前に職員の配置検討や子どもへの説明を行っている。 外出時には必要に応じてビブスを着用してもらっている。 	・特になし。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> リスクが考えられる場面ではその都度保護者様に説明を行い、対応方法について話し合いを行っている。 	・安全改革に基づく取り組み内容については保護者様等には積極的に周知できていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> 何かあった際には個人ファイルや伝達ノートに記載し、回覧や声掛けを実施している。 ヒヤリハットへの記載を確実に実施していく。また不定期開催ではあるがヒヤリハットのミーティングを実施している。 	・ヒヤリハットとして記録に残せていないことがある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> 月始めに虐待防止委員会、身体拘束防止委員会を開催し、虐待や身体拘束の有無、それに連なる事項について話し合いを行っている。 全事業所合同で委員会を開催しており、情報の共有を行うとともに、意識を高めるようにしている。 	・特になし。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・現状身体拘束をしていない。気になる点があった際には保護者様と相談し、身体拘束をしなくても解決できる方法を模索している。 ・身体拘束には当たらないが、安全を考慮するための行動の制止について同意書を作成し、保護者様の了承を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。